

生物系三学会島根大会で奨励賞を受賞

5月21日にオンラインで開催された「生物系三学会島根大会高校ポスター発表」に、本校から理数科3年生（生物分野4グループの生徒）が参加しました。

「殻なしヤドカリのための人工殻の作成」について研究発表を行ったグループが動物学分野で奨励賞を受賞しました。



【生徒の感想】

ヤドカリ班（殻なしヤドカリのための人工殻の作成）

私達は英語でヤドカリのための人工殻を作成したことの概要を発表しました。具体的にはヤドカリの殻がないため殻の作成をしようとした動機や、自然分解が可能な殻を寒天やチョークなど用いて作れたこと、実験の結果や考察などを要約して発表しました。生物系三学会のような大きな発表会は初めてだったのでとても緊張しましたが、発表が終わった後は大きな達成感を得ることができたので良かったと思います。

ゴキブリ班（紫外線がゴキブリの行動に与える影響）

私達は1年間行ってきた研究の総まとめとして研究内容の概要を説明しました。紫外線がゴキブリの行動に与える影響について、事前に受け取っていた質問やアドバイスを活かして端的に研究内容を発表することができました。2分間という短い時間での発表は初めてだったので、いかに研究のポイントを押さえて伝えたい部分が言葉にできるかを考えるのがとても難しかったです。その分多くのもので得ることができたので今後に活かしていきたいです。

アマモ班（漂着アマモを用いた高付加価値物質生産菌培養の検討）

私達は今までの理数探究で行ったことをまとめて発表しました。他の高校の発表も大変面白く興味深いものだったのでとても有意義なものになったと思います。発表の際にいろいろとトラブルもありましたが、制限時間内にできるだけ研究の概要を伝えることができたと思います。これからも様々な発表の機会があると思うので、そこでもしっかりと頑張っていきたいです。

アブラムシ班（アブラムシの誘引色の検討）

私達は、アブラムシの誘引色の検討という研究の結果を発表しました。アブラムシは農業被害を多く出している虫の1つでこれを誘引するために誘引色を調べました。黄色に最も誘引されやすく、また光がないと誘引されにくくなっていました。自分たちは学校外での発表会に出場することが初めてだったので、慣れないことが多く苦労しましたが時間内にトラブルもなく発表することができました。発表のための準備でも振り返ることができたので良かったです。